

ハイスай こちら市長室！

「ようこそ、希望の春へ」

四月、新しい生活がスタートします。

この春、ある人は新しい学校へと向かうことでしょう。ある人は社会人としてデビューするのかもしれない。また、ある人は新しい職場で新しい仕事への挑戦を始め、別のある人は変わらぬ日常生活の中でも、心を一新して今日を迎えているのかもしれない。

四月は行政的には議会で承認を頂いた新年度予算に基づく新たな一年が始まります。人事異動も行われ、新入職員が新しい風と共にやってくる大きな節目でもあります。とにかく、春です、私にとっても、あなたにとっても。

この季節の、何となく胸がワクワクとする感覚が私は好きですが、中には新生活への不安を感じている方もいるのかもしれない。これまでの日常が変わり、新しい世界への道を歩み出すこと

は、ワクワクするのと同じに不安も感じるものです。なぜなら、希望と不安は常に一緒にやって来るものだからです。

新しいステージでの成功は、これまでの経験への感謝が土台になると私は思っています。人生は必ず連続する物語の途中であり、これまでのすべての出来事にはそれぞれに大切な意味が込められているとするならば、過去の境遇や出会って来た人々への感謝は必ず次の新しい世界でもあなたを助けてくれることでしょう。例えばそれが望んでいないわけではなかった過去の辛い思い出であったとしても。

そんな新しい春に新しい夢と希望を胸に抱くあなたへ、私の大好きな本をご紹介します。パウロ・コエリヨ著の「アルケミスト」です。貧しい主人公のサンチャゴ少年が夢を信じて砂漠を渡る旅に出る物語です。世界中で愛されているベストセ

は、ワクワクするのと同じに不安も感じるものです。なぜなら、希望と不安は常に一緒にやって来るものだからです。



浦添市長 松本哲治

ラーですが、旅立ちの春にぜひ読んで欲しい一冊です。

その旅の途中で出会った老人が彼に語る言葉を、全ての夢見る人へ送ります。

「おまえが何かを望む時、宇宙全体が協力して助けてくれるのだよ」。



▲小学校の入学式の様子

市長とゆんたくランチのお知らせ

日時:4月19日(火)12時～13時
場所:市役所9階展望ロビー
※お弁当と飲物は各自でご準備ください。



問い合わせ 秘書課
☎876-11234
(内線2563)

文化課発信 うらしーありんくりん 第13回

～ お墓の話 ～

昨年4月から始まった「うらしーありんくりん」が好評により、2年目に突入します。引き続き市の歴史や文化財等の情報を発信していきますのでよろしくお願いします。

さて、4月は進学や就職など環境の変化に戸惑う慌しい月です。今月は清明祭もありますね。ということで今回はお墓についてお話しします。

「墓」は死者を葬る場所で怖いイメージがありますが、葬儀以外にも年に何回かは墓を訪れる行事があります。例えば墓前で祖先を供養する「正月十六日」や「清明祭」、墓掃除をしてお盆の案内をする「七夕」などです。墓は祖先の眠る「あの世の家」として大事にされています。また、家の仏壇には位牌を置いて祖先を祀り、報告や祈願を行うことで祖先に守られていると信じられています。生活環境の変化に戸惑うこの時期こそ、祖先に話を聞いてもらってはいかがですか。

お墓の話にちなんで二つの市指定文化財を紹介します。

「玉城朝薫の墓」は、組踊の創始者とその一族の墓で前田トンネルの上にあります。「浦添御殿の墓」は、第二尚氏第十四代尚穆王の次男、浦添王子朝央を元祖とする浦添家の墓で字沢岬の集落内にあります。この二つの墓は見学できるので是非ご覧ください。

では、また来月お会いしましょう。



▲玉城朝薫の墓



▲浦添御殿の墓

問い合わせ 文化課 内線6214・6217



大人への1歩「実家からの旅立ち」

Moving Out: The First Steps of Adulthood

アメリカでは、18歳以上の若者は、実家暮らしと実家から独立して暮らす人はどちらが多いと思いますか？正解は、実家から出る人が多いです。大学生になると実家から出るのが当たり前で、実家に住む子はほとんどいません。2年前に、私が留学した時に、まだ実家に住んでいる日本人の学生の数に驚いてしまいました。日本では、働き出しても親と住む事はかなり普通なことだと思いますが、アメリカでは、大学時代に親と一緒に住んでいた人でも、社会に出たら必ず実家から引っ越します。皆さん、早めに実家から出る事に驚きましたか？今回、アメリカの実家から独立する事について話したいと思います。

では、何で多くのアメリカ人は18歳になったら実家を出るのかというと、大学生になると寮生活が主流だからです。アメリカ人から見ると、寮に住むのは通過儀礼の一つです。なぜならば、18歳になるまでは、衣食住の全てを親に頼るので、大学での一人暮らし生活はもっと自由になると同時に、自分の人生は自分の責任になるからです。その他、経済面、時間節約の事を考え通学しやすい寮やキャンパスに近いアパート等に住んだり、中にはルームメイトと暮らす人もいます。

大学卒業後は、就職が決まるまで、実家に戻る人が多いです。しかし、家賃や電気代などの生活費は支払います。そして、子どもの就職が決まったら、なるべく早く実家を出て欲しい親も多いです。実は、私の両親もそうでした。もちろん、遠くまで引っ越すことは望んでいませんでしたが、私の夢をサポートしてくれるので、「日本に行かないで」と言ったりはしませんでした。

独立するまでの間、愛情をもって親のもとで育てる事はアメリカも日本も一緒だと思います。しかしアメリカでは、個性を重視しますので若いうちに、自分で料理、洗濯をしたりと自立させたくましく生きてほしいと願います。

親から離れて暮らす事は大変な事も多いですが、勉強になる事もたくさんあります。実家から出る事は、自分を成長させるきっかけになると思います。

Are American people over the age of 18 more likely to be living at home with their parents, or have they already moved out? The answer is, it is more common for young adults not to live at their parents' house. In America, an overwhelming majority of 18 year old students move out of their childhood home for the first time. When I was studying abroad in Japan 2 years ago, I was very surprised at the number of college students who still lived with their parents. Apparently, it is common for Japanese people to live at home, even after they start working! In America, even people who chose to live at home during their college years move out when they enter the workforce. I wonder, are Japanese people equally as surprised at how quickly Americans move out of their parents' house? This month, I will explain a little bit about why Americans move out so quickly!

Many Americans choose to go to college after high school. At American colleges, the most commonly used form of student housing is the dormitory. Most American children rely on their parents to provide them with the essentials of living (clothing, food, housing etc.). So, when you go to college and begin living in a dormitory, you gain more freedom, and with that freedom comes personal responsibility over your own life. Other reasons to move out when you begin attending college are economic. It is much more cost effective to live in a campus dorm or in an apartment close to campus if your parents' house is too far away from your university. Also, although college life gives young adults more freedom, many college students share their dorm rooms with one or more roommates.

After college, many young people will return home until they have found a job. However, there are also many parents who will have their children pay rent or do jobs around the house in lieu of monetary payment! Furthermore, once their child has found a job, it is not uncommon for parents to express a desire for their child to begin living on their own as quickly as possible. Actually, my parents were like this. Of course, I don't think it was their preference for me to move half way around the world, but they support me and so they would never have told me not to come to Japan.

In America and in Japan, parents lovingly raise their children and hold them close until they decide to begin their own life. However, individuality and independence are highly valued in America, and so it is considered a good idea to expose children to cooking, doing the laundry and other such things while they are still young. Living away from home may seem daunting, but it is also an indispensable learning experience, and a way for you to mature as a human being.



りんご大好きboy!

おざわ かない
小澤 叶ちゃん(1歳)伊祖在



はい、チーズ、カシャッ

めかる たけあき
銘剣 竹晃ちゃん(2歳)伊祖在



おばあちゃん！
僕の手、
必要な？

まつの こうすけ
松野 光佑ちゃん(0歳)経塚在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子ども(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎876-1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp